

平成29年度決算を認定しました

9月定例会では、平成29年度各会計決算を審査する決算審査特別委員会を設置し、「市の予算が適正に使われたのか」「効率的に行われているのか」「事業の成果は」など、平成29年度の重点施策を中心に審査しました。審査の結果、全議案「認定すべきもの」として本会議に報告しました。審査の主な内容を紹介いたします。

地域おこし・集落支援事業

Q 地域おこし協力隊員等報酬及び地域おこし協力隊活動支援業務委託料の決算額が予算額に対して少なくなった理由は何か？

A 地域おこし協力隊員等報酬は、岩代1名分、東和2名分であり、また、地域おこし協力隊活動支援業務委託料は、それら隊員の活動する受け入れ団体に支払ったものですが、これらの決算額が少ないのは、募集した人数よりも応募がなかったことによるものです。



道の駅ふくしま東和のレストランで調理に従事する地域おこし協力隊員の樋口陽子さん

交通安全推進対策事業

Q 市民交通災害共済の平成29年度加入率が48.7%であるが、加入率は過去と比較してどのような傾向か？また、本市の支払い状況は把握しているのか？

A 加入率の実績にそれほどの変化はありませんが若干少なくなってきたという傾向にあります。また、本市の支払い状況について、平成29年度では112件、588万円でした。

一般市道整備事業

Q 土地購入費の予算額が150万円に対して、決算額が629万4,000円と多くなった理由はなぜか？

A 市道浮内・細野線の整備において、一部、宅地がかかるということが判明し、また、購入する用地の買収単価を、田、畑で考えていたところが宅地の見込み地となったことから、単価差が生じ土地購入費が多くなったということです。

耐震補強事業

Q 平成29年度で耐震補強が完了していない施設はあるのか？



耐震補強工事が完成した東和中渡り廊下

A 校舎、屋内運動場の本体について、東和中学校渡り廊下耐震補強工事が平成30年度に繰り越ししており、先日完成しました。これで校舎、屋内運動場の本体の耐震補強工事は全て完了となりました。

学力向上推進事業

Q 算数科で非常勤講師を配置し、チーム・ティーチング(TT)方式により取り組んでいる学力向上対策の状況については、どのように分析しているのか？

A 本取組みにより、標準学力検査や全国学力学習状況調査において、近年は安定した成績を残しています。各学校においては、補強すべき教科が異なっているところもあり、今後は各学校長の判断で、弾力運用できるように改善しました。

平成29年度各会計の決算状況

◎一般会計

歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引額	実質収支額
429億3,084万円	414億4,353万円	14億8,731万円	10億2,913万円

◎特別会計

	歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引額	実質収支額
国民健康保険 事業勘定	72億8,708万円	68億2,883万円	4億5,825万円	4億5,825万円
国民健康保険 直営診療施設勘定	1億552万円	1億510万円	42万円	42万円
後期高齢者医療	5億9,793万円	5億9,681万円	112万円	112万円
介護保険 保険事業勘定	58億5,206万円	56億1,556万円	2億3,650万円	2億3,650万円
介護保険 介護サービス事業勘定	2,615万円	787万円	1,828万円	1,828万円
土地取得	7,108万円	7,108万円	0	0
公設地方卸売市場	1,263万円	970万円	293万円	293万円
佐勢ノ宮住宅団地造成事業	549万円	549万円	0	0
岩代簡易水道事業	1億7,058万円	1億6,994万円	64万円	8万円
東和簡易水道事業	3億2,297万円	3億2,234万円	63万円	7万円
安達下水道事業	2億8,700万円	2億8,700万円	0	0
岩代下水道事業	9,514万円	9,511万円	3万円	3万円
茂原財産区	655万円	620万円	35万円	35万円
田沢財産区	27万円	20万円	7万円	7万円
石平財産区	217万円	204万円	13万円	13万円
針道財産区	190万円	179万円	11万円	11万円

◎企業会計

	収益	費用	損益
工業団地造成事業	0	-	0
宅地造成事業	0	-	0
水道事業	10億5,556万円	8億9,138万円	1億6,418万円
下水道事業	6億3,401万円	6億3,401万円	0円

消防施設整備対策

Q 消防屯所用地で民有地を借り上げているのは何カ所あるか？また、用地を市で購入する計画はあるのか？

A 市全体で101カ所のうち53カ所について借り上げています。なお、建て替え時には原則購入する計画であり、平成29年度建て替えの2カ所についても用地を購入しました。

分科会での意見

市民の生命財産を守るために、必要な予算を確保し、事業を継続すべき。

二本松城跡総合整備事業

Q 昨年の分科会審査において、拡充継続として再検討すべきとの意見が出ていたが、平成29年度で出した結論は？

A 基本構想の段階では敷地上段に整備予定でしたが、平成29年度において敷地下段への整備予定に変更となりました。現在、基本設計を10月31日完了期日で進めています。

分科会での意見

観光客の利便性や活用が十分図られるように、中身について十分検討しながら、拡充して進めるべき。

平成29年度一般会計決算

